



コミュニティと大学のかかわり方を考える

平成 23 年度 大学改革シンポジウム

コミュニティの再生と 国立大学の役割

参加無料・申込不要

コミュニティの再生は重要な課題ですが、大学のかかわり方については十分に議論されていません。大学がコミュニティにかかわる場合、二つの視点が重要となります。ひとつは、大学が持つ専門性で、もうひとつは地域住民としての役割です。大学も特定の地域に立地する以上、地域住民としての役割が求められます。奈良女子大学は、これまで、地域の一員として自治連合会や商店街が主催する地蔵盆、佐保川清掃、防災訓練等に参加してきました。このシンポジウムでは、そのような関係を踏まえ、コミュニティが国立大学に期待することとこれからの課題について考えます。

挨拶 野口 誠之 奈良女子大学 学長

報告

「コミュニティ再生に関する本学の取り組みと
全国の状況」 中山 徹 奈良女子大学大学院 教授

シンポジウム

「コミュニティの現状と奈良女子大学への期待」

澤野井 保 氏 奈良市市民活動部 地域活動推進課長

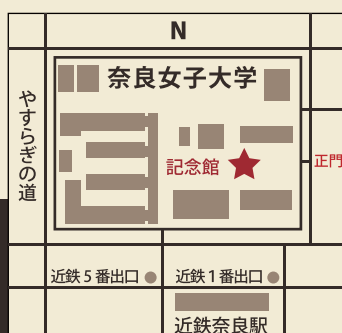
畷 三夫 氏 佐保地区自治連合会 副会長

松森 重博 氏 奈良もちいどのセンター街協同組合 理事長

木村 現司 氏 奈良きたまちを繋げる会 代表

共催 国立大学法人 奈良女子大学, 一般社団法人 国立大学協会

場所 奈良女子大学記念館



2011.11.26 土 13:00-16:00

<http://www.nara-wu.ac.jp>

